

教育・倫理領域活動報告

教育・倫理領域分科会

中西通雄(幹事・大阪工業大学)

中野博隆(幹事補佐・大阪大学)

辰己丈夫(東京農工大学)

楠元範明(早稲田大学)

前野讓二(早稲田大学)

教育・倫理領域のミッション

- ネットワーク運用・利用 **セキュリティ面の拡張**
 - 電子情報通信学会WGでの作業をベース
 - 政府統一基準と大学組織の対応
 - **大学における運用・利用にかかる教育**
- 対象者
 - 利用者: 情報システムの**利用**に関する教育
 - 管理者: 情報システムの**管理**に関する教育
- 目標文書: 教育に関する規程とテキスト
 - 年度講習計画 (A2301)
 - 教育テキスト (A3301)

作業経過

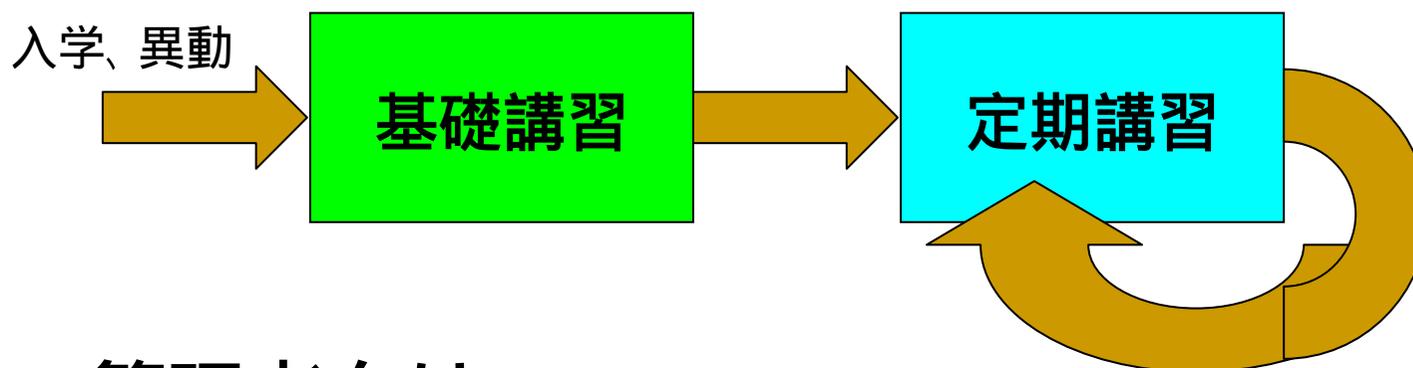
- 第1回会合： 2006年9月11日(月)
 - ネットワーク運用ガイドラインで検討された内容・経緯を確認
 - 政府統一基準における組織と大学組織との比較、対応づけ
 - 利用者の定義の確認，組織との関係の整理
- 第2回会合： 2006年12月20日(水)
 - 総論体制、利用領域で規定された教育方針を確認
 - 教育対象と教育内容について大きく分類
- 第3回会合： 2006年12月25日(月)
 - **新入生・異動者向け**と**システム管理者向け**の2種類に絞る
 - 既存教材を参考に、教育すべき項目を整理、文書化

規程：A2301 「年度講習計画」

- ❑ 受講義務のある講習
- ❑ 利用者向け

身を守る知識、学内関連諸規程
情報セキュリティ基礎知識、
法令、マナー

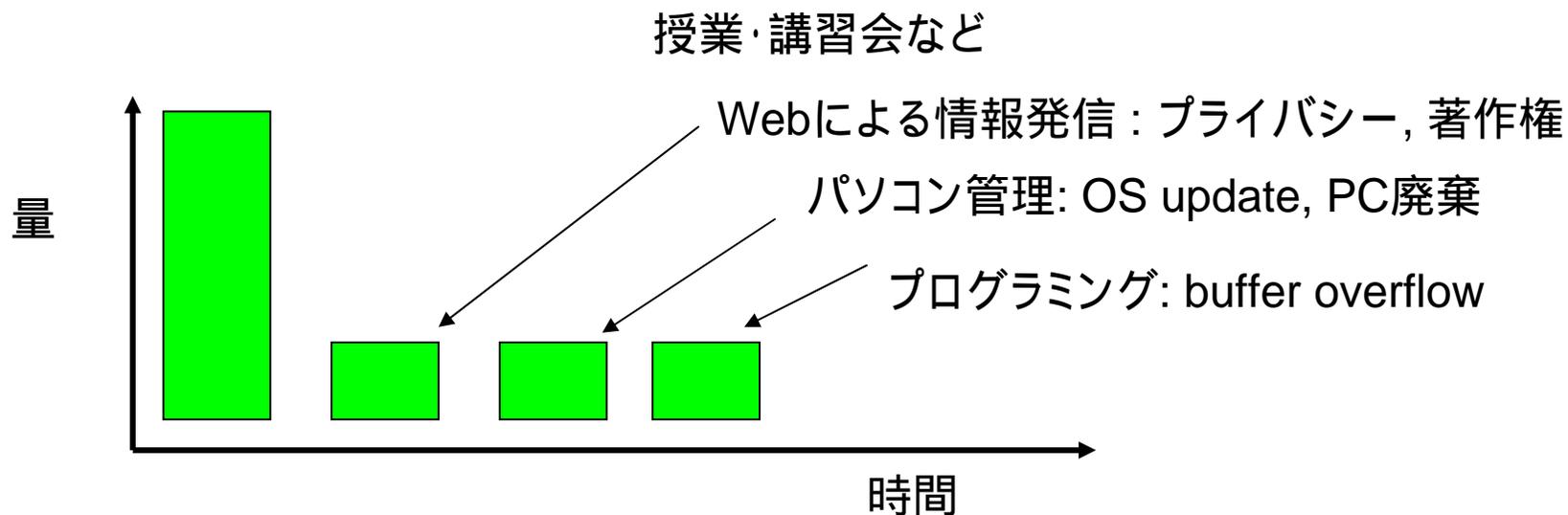
知識のリフレッシュ
最新の脅威と対策



- ❑ 管理者向け
 - 教育項目をA3301 教育テキストに記載

利用者向け講習の考え方

- 「L字型」の教育方針がよいだろう
 - 初回に**身を守るための知識**を集中的に教育
そのあとで 他の教育内容に関連した
情報セキュリティの知識を教育



関連手順書

- A3301 「教育テキスト」
 - 対象者：情報システムの管理者(技術責任者・技術担当者)
 - 情報システム運用・管理規程第三条で規定された「情報資産及び情報システムを運用管理する者」
 - **情報セキュリティ対策教育**に必要な項目をリストアップ
 - ネットワークインフラセキュリティ
 - セキュリティアーキテクチャ
 - アプリケーションセキュリティ(全般, Web, メール, DNS)
 - OS セキュリティ(Unix, Windows, Trusted OS)
 - ファイアウォール、侵入検知
 - コンピュータウイルス
 - 運用、関連法規と情報倫理

今後の取り組み予定

- 年度講習計画
 - 各領域との調整を含めて必要な修正を行う
- 教育テキスト
 - 具体的な内容の記述を追加し, 完成をめざす

情報システム運用・管理規程 A2101-73（教育の主体と客体）

- 第七十三条 部局情報システム運用委員会は、部局総括責任者、部局技術責任者及び部局技術担当者に対して、情報セキュリティ対策の教育を実施すること。
- 2 部局技術責任者及び部局技術担当者は、利用者等に対して、講習計画の定める講習を実施すること。

7. 教育・倫理領域

幹事 中西通雄、幹事補佐 中野博隆

7.1 検討課題

政府機関統一基準も含めて、論点整理と利用者規程の内容を抽出し、検討する。

7.2 検討経過

第1回領域分科会会合（9月11日）では、ネットワーク運用ガイドラインで検討されてきた内容・経緯を確認し、本領域分科会の進め方、政府機関統一基準における組織と現状の大学組織との比較対応、利用者の定義の確認、組織との関係について、検討を行った。第2回会合（12月20日）では、総論体制領域や利用領域のドキュメントが形をなしてきたので、そこに含まれた教育の方針を確認し、教育対象と教育内容について大きく分類を行った。第3回会合（12月25日）では、新入生向けと部局内のシステム管理者向けの2種類について、既存教材を参考に教育すべき項目を整理した。随時メーリングリストで議論を進めた。

7.3 検討内容の概要

利用者に対する情報システムの利用に関する教育、及び管理者に対する情報システムの管理に関する教育について検討し、以下の項目について利用規程および手順書の雛形等の作成を行った。

- ・ 年度講習計画

情報システムの利用にあたって受講しなければならない講習に関する事項に関する規程として「A2301 年度講習計画」を作成し、初回に身を守るための知識を集中的に教育し、以後他の教育内容に関連した情報セキュリティの知識を教育する「L字型」の教育が行えるような方針で骨子をまとめた。

- ・ 関連手順書作成

情報セキュリティ教育に必要な項目に関する手順書として、「A3301 教育テキスト」の骨子を作成した。

7.4 今後の課題

年度講習計画については、各領域との調整を含めて必要な修正を行う。また、教育テキストについては具体的な内容の記述を追加し、完成をめざす。